



スタートアップとの共創による 地域活性化に向けて

2023. 6. 8

フォーアイディールジャパン株式会社



- 2005年 UFJ 総合研究所（現三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）に入社、一貫して ICT 分野のベンチャー支援施策の調査・企画・実行支援に従事。
- 2016年スタートアップ支援・オープンイノベーションを推進するLEAP OVER チームを立ち上げ、2017年より同社独自のアクセラレータ「MURC アクセラレータ LEAP OVER」を始動。「持続可能な地域社会の実現」を目指しスタートアップと大企業・地域中核企業と自治体の3者による共創の場を提供すべく全5期（2017～2021）の責任者をつとめる。
- 2019年同社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部にジョインし、LEAP OVER 事業統括に就任。日本におけるオープンイノベーション・スタートアップ環境のさらなる強化に向け、2022年退職・独立し、5月フォーアイディールジャパン株式会社を設立、代表取締役社長に就任。2児の母。

■ フォーアイディールジャパン株式会社

設 立 2022年5月16日 資本金500万円 従業員 4 名

事業内容 スタートアップ関連調査・施策企画・実行、調査・事業受託、コンサルティング/等

所在地 東京都品川区小山台 1 - 6 - 8

Mail info@forideal.jp



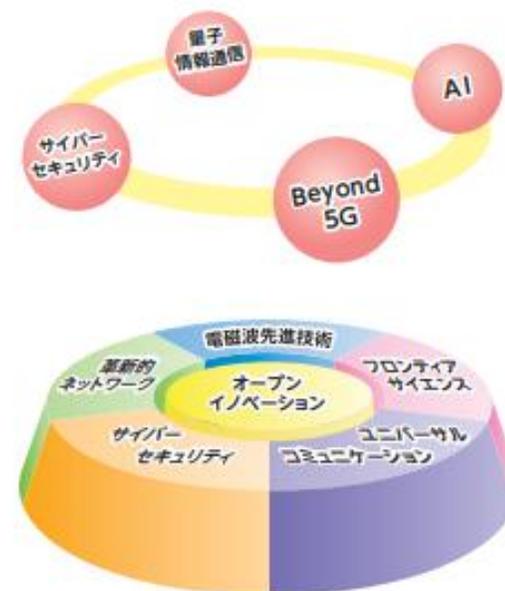
地域発ICTスタートアップ創出に向けたアクセラレータ・プログラム

総務省・NICT「起業家甲子園」「起業家万博」

NICTについて



情報通信分野を専門とする我が国唯一の国立研究開発法人



第5期中長期計画における戦略4領域と重点5分野+オープンイノベーション

ICT分野における国際競争力向上及び地域発ICTスタートアップ創出による地域活性化を図るに当たり、事業化を阻むとされる「3つのクレバス：事業計画、資金、人材」を埋めることを目的として、2011年度に組織化しました。

ベンチャーキャピタリスト（VC）・起業家によって構成され、「ICTメンター」として活躍しています。

ICTメンター

各地域で開催される連携大会等に参加し、有望なICTスタートアップを発掘します。

また、そのICTスタートアップに対し、メンタリング及びビジネスプランのブラッシュアップを行います。



石元 良武 氏
DBJキャピタル株式会社
投資部 シニア・インベスト
メント・マネージャー



今野 穰 氏
株式会社グロービス・キャピタル
・パートナーズ 代表パートナー、
最高執行責任者(COO)



上原 仁 氏
株式会社マイネット
代表取締役会長
Bリーグ滋賀レイクス 会長



庄子 素史 氏
ソーシャルワイヤー株式会社
代表取締役社長



杉原 美智子 氏
フォーアイディールジャパン株式会社
代表取締役社長



田島 聡一 氏
株式会社ジェネシア・ベンチャーズ
代表取締役/General Partner



田中 邦裕 氏
さくらインターネット株式会社
代表取締役社長



田中 慎也 氏
BIJIN&Co.株式会社(ビジョナリーカンパニー)
代表取締役社長



中嶋 淳 氏
アーキタイプベンチャーズ株式会社
代表取締役



永瀬 史章 氏
D4V
Partner



廣澤 太紀 氏
THE SEED
General Partner



福野 泰介 氏
株式会社jig.jp
創業者 & 取締役会長



保科 剛 氏
株式会社T
代表取締役



山田 優大 氏
Partners Fund
代表パートナー

ICTメンター〔顧問〕

ICTメンターとしての経験に基づき、高度な観点から提言・助言を行います。



伊藤 健吾 氏
D4V ファウンダー
Japan Copyright (C) 2023 for id



佐藤 光紀 氏
株式会社セブテーニ・ホールディングス
代表取締役/President 社長執行役員



照沼 大 氏
日本ベンチャーキャピタル株式会社(NVCC)
シニアパートナー
北九州市顧問



本間 真彦 氏
インキュベイトファンド
代表パートナー

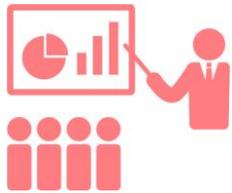
地域発ICTスタートアップ創出に向けたNICTアクセラレータ・プログラム

各地域で開催される連携大会等において、有望な起業家・起業家の卵を発掘し、全国大会である起業家甲子園・起業家万博に向けてメンタリング、ビジネスプランのブラッシュアップを行います。

また、各地の自治体・団体等によるスタートアップのサポート体制の強化に向け、スタートアップエコシステム作りを強化していきます。

発掘フェーズ

各地域でスタートアップを支援する自治体・団体等とともに、連携大会等を開催します。著名なICTメンター陣が参加し、有望な起業家・起業家の卵を発掘します。



著名なICTメンター陣の
連携大会等への参加

イベントを通じた、
地域スタートアップ
コミュニティの活性化

育成フェーズ

発掘した起業家・起業家の卵に対し、担当ICTメンターがメンタリング、ビジネスプランのブラッシュアップを実施します。



メンタリング、ビジネスプ
ランのブラッシュアップ

シリコンバレー
ブートキャンプ（※）

※ 起業家甲子園出場予定者のみ対象

その後のフォローアップ

自治体ニーズとの
マッチング

事業化支援・拡大フェーズ

ブラッシュアップされたビジネスプランを披露する場として、総務省・NICTの共催により例年3月上旬に起業家甲子園・起業家万博を開催します。全国の有望な学生やICTスタートアップが集結します。



最優秀者には
「総務大臣賞」を授与

多数のパートナー企業との
マッチング

展示会への出展支援

情報発信

起業家甲子園・起業家万博 出場のメリット

① 担当ICTメンターによるブラッシュアップ、その後のネットワーク形成

ICTメンターがプロフェッショナルな視点から、ICTスタートアップをサポートし、事業化を促進します。

② 資金調達の機会の提供／知名度向上

審査委員に著名なベンチャーキャピタリスト(VC)を招き、「最も投資をしたい」という評価を得た企業・チームに対し、**総務大臣賞**を授与します。

③ パートナー企業とのマッチング機会の提供

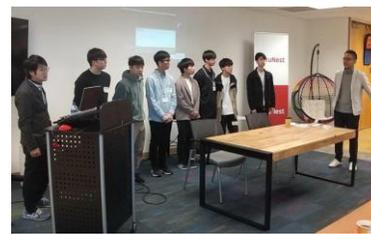
パートナー企業からのパートナー企業特別賞(役員等との食事会におけるビジネスマッチングの機会の提供等)の授与により、マッチング機会を提供します。

④ 「起業家甲子園」出場予定者を対象としたシリコンバレーブートキャンプの実施

「起業家甲子園」出場予定者には、グローバルマインドを身につける機会を提供するため、例年2月頃、「シリコンバレーブートキャンプ」を実施しています。

プログラムの例

- ① シリコンバレーで活躍する起業家・投資家等による講演
- ② 企業・施設訪問
- ③ ピッチ演習
- ④ 現地の方々の目線からのアドバイス・指導等



⑤ 国内外の大規模展示会への出展機会の提供

- CEATEC(日本)
- イノベーションリーダーズサミット(日本)
- Tech Crunch DISRUPT 2019(米国)
- Digital Thailand Big Bang (タイ)

● 「CEATEC 2022」(幕張メッセ会場)



起業家万博出場者がCEATEC AWARD デジタル大臣賞を受賞

● 「Tech Crunch DISRUPT 2019」(サンフランシスコ)



Japanパビリオン内の展示ブースの様様

令和4年度 連携大会一覧 1/2

起業家甲子園対象：14大会 起業家万博対象：17大会

	イベント名	対象	主催等	開催時期	会場等
全国高専	高専制度創設60周年記念 第33回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	甲子園	(一社) 全国高等専門学校連合会、NPO高専プロコン交流育成協会 (NAPROCK)	10月15日・16日	Gメッセ群馬
北海道	NoMaps Dream Pitch 2022	万博	経済産業省北海道経済産業局、総務省北海道総合通信局、北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク (HSFC)、(公財)北海道科学技術総合振興センター (チャレンジフィールド北海道事務局)	10月20日	オンライン
	北海道起業家甲子園2022	甲子園	北海道総合通信局、北海道テレコム懇談会、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)、一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議	12月3日	HOKKAIDO×Station01
東北	SPARK! TOHOKU 2022 Startup Pitch	甲子園 万博	SPARK! TOHOKU 2022実行委員会	12月16日	NTT都市開発株式会社 東北支店 ショールーム
関東	スタートアップオーディション in YOKOSUKA	万博	横須賀市産業振興財団・横須賀市・神奈川県・ANDMAMACO・ETIC・京浜急行電鉄・セイウン	7月9日	横須賀市産業交流プラザ
	宇都宮アクセラレータープログラム最終面談選考会	万博	宇都宮イノベーションコンソーシアム	9月2日・5日	オンライン
	PlanTビジネスプランコンテスト2022	万博	日野市、有限会社エーアンドディーネットワーク	12月11日	日野市多摩平の森産業連携センター PlanT
信越	信州未来アプリコンテスト0 (ZERO)	甲子園 万博	長野県	11月26日	シソーラス株式会社 (オンライン併用)
	信州ベンチャーコンテスト2022	甲子園 万博	信州ベンチャーコンテスト実行委員会	12月10日	松本市中央公民館 (Mウィング)
	えちご想発xTECH2022「ICTビジネスアイデアコンテスト」	甲子園	特定非営利活動法人にいがた地域情報化推進協議会	11月23日	Startup Niigata @PLAKA (SN@P新潟)
北陸	HIT2022 (北陸イノベーショントライアル2022)	甲子園 万博	HIT2022実行委員会	11月26日	福井県織協ビル

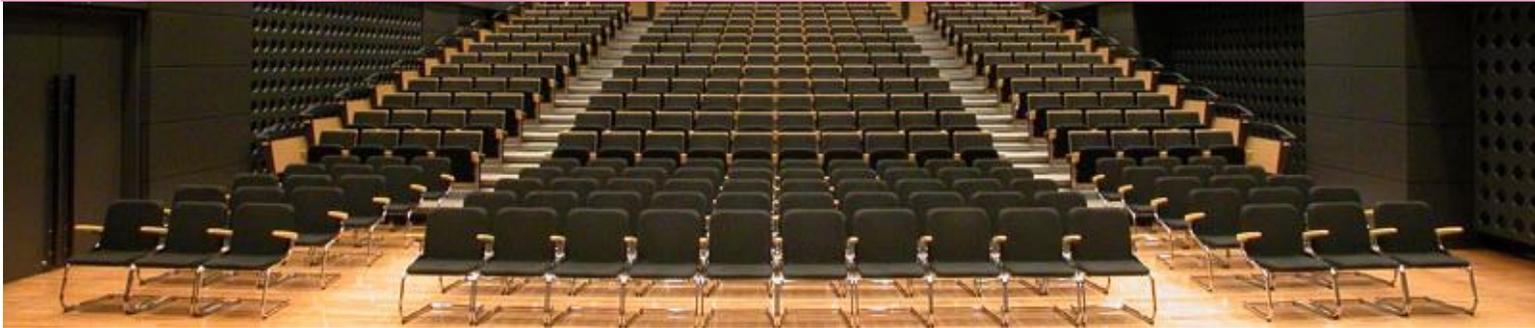
令和4年度 連携大会一覧 2/2

	イベント名	対象	主催等	開催時期	会場等
東海	Tongaliビジネスプランコンテスト2022	甲子園	Tongali	6月11日	千種文化小劇場
	GLOW Pitch 2022		名古屋市	11月18日	ナゴヤイノベーションズガレージ
	中部ニュービジネス協議会 ベンチャー大賞（ニュービジネスフェア）スタートアップ創出支援チームとのマッチングイベント		中部ニュービジネス協議会	10月27日	ミッドランドホール
近畿	ミライノピッチ2022	甲子園	和歌山県	8月30日	ホテルアバローム紀の国
		甲子園	大阪産業局、大阪イノベーションハブ（大阪市）、総務省近畿総合通信局、近畿情報通信協議会	12月10日	大阪イノベーションハブ（オンライン併用）
中国	やまぐちミライベンチャー中間発表会		山口県	11月26日	山口県政資料館
四国	とくしま創生アワード2022	甲子園	とくしま創生アワード実行委員会	令和5年1月27日	徳島市内 JR徳島駅周辺（オンライン開催含む）
九州	九州・山口ベンチャーマーケット2022		九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会	10月24日	JR九州ホール
	StartupGo!Go!2022	甲子園	（一社）Startup GoGo	11月18日	電気ビル共創館みらいホール
	第8回崇城大学ビジネスプランコンテスト【令和4年度熊本県オープンビジネスコンペティション】	甲子園	崇城大学、熊本県	12月10日	崇城大学 SoLAホール
	九州・大学発ベンチャービジネスプランコンテスト	甲子園	九州・大学発ベンチャービジネスプランコンテスト実行委員会	12月17日	ももち浜SRPホール
沖縄	X-Tech Innovation 2022 沖縄地区大会		沖縄銀行、北海道銀行、岩手銀行、七十七銀行、ふくおかフィナンシャルグループ	12月6日	タイムスホール

令和4年度 総務省・NICT Entrepreneurs' Challenge 2Days

令和4年度 総務省・NICT Entrepreneurs' Challenge 2Days

起業家甲子園 起業家万博



DEMO DAY 令和5年3月7日(火)・8日(水)

起業家甲子園審査委員

審査委員長



上原 仁 氏
株式会社マイネット 代表取締役会長
Bリーグ滋賀レイクス 会長



松山 馨太 氏
New Commerce Ventures
株式会社
代表取締役



金子 剛士 氏
East Ventures
パートナー



両角 将太 氏
F Ventures LLP
有限責任事業組合
代表パートナー



廣澤 太紀 氏
THE SEED
General Partner



山田 優大 氏
Partners Fund
代表パートナー

起業家万博審査委員

審査委員長



中野 慎三 氏
伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社
代表取締役社長／パートナー



堤 達生 氏
STRIVE
General Partner



井上 智子 氏
オムロンベンチャーズ株式会社
グローバルコーポレートベンチャリング室 室長
オムロンベンチャーズ株式会社
代表取締役社長



和田 圭祐 氏
インキュベイトファンド
代表パートナー



坂本 教晃 氏
株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
取締役COO パートナー／マネージングディレクター

～ 令和4年度 総務省・NICT Entrepreneurs' Challenge 2Days ～ (令和5年3月7日・8日 @丸ビルホール&コンファレンススクエア)

1st DAY 起業家甲子園

- 連携大会等から選抜された学生9チームが出場し、ビジネスプランを競った。
- 総務大臣賞
受賞チーム：Human Site（北海道大学大学院）
〔北海道地区〕
プラン名：医療診断装置への応用を目指したTlBr放射線センサー



令和4年度 起業家甲子園
総務大臣賞受賞者

2nd DAY 起業家万博

- 連携大会から選抜されたスタートアップ8社が出場し、事業提携・資金調達等のビジネスマッチングにチャレンジした。
- 総務大臣賞
受賞企業：株式会社yuni〔九州地区〕
プラン名：寝具のお引き取りと再生素材化により、焼却処分場を再生工場に、日本を廃棄大国から資源大国へ



令和4年度 起業家万博
総務大臣賞受賞者

令和4年12月27日現在

I-O DATA

powered by **aws**

infineon

ABC DREAM VENTURES

d docomo business

NTT DATA

NTT docomo
NTT DOCOMO Ventures, Inc.

CROWDWORKS

KDDI Labo

SAKURA internet

CI Contents Innovation Program

jig.jp

SEPTENI

PACIFIC TELECOMMUNICATIONS COUNCIL JAPAN COMMITTEE

TIS
TIS INTEC Group

DBJ

Orchestrating a brighter world
NEC

IBM blue hub

JETRO

mitsubishi electric
Changes for the Better

MUFG 三菱UFJ銀行

INITIAL

過去の出場者の例

万博等 出場年度	企業・団体名	地区	事業概要	※ 出場当時
H21年度	Sansan株式会社	関東	名刺クラウドサービスの『Link Knowledge（リンクナレッジ）』	
H28年度	株式会社Payke	沖縄	自社製品の魅力を世界中の人に届ける世界初のソリューション「Payke」	
H28年度	炎重工株式会社	東北	屋外ロボットを用いた除雪サービス	
H28年度	株式会社パリティ・イノベーションズ	NICT	マイクロミラーアレイ構造を持つ結像光学素子パリティミラー®を利用した空中映像システム	
H29年度	株式会社エイシング	東北	動的な追加学習可能なリアルタイム軽量AI（DeepBinaryTree）	
H29年度	株式会社バイオーム	近畿	生きものプラットフォーム「バイオーム」	
H30年度	C I Inc.	関東	病児保育プラットフォーム「あずかるこちゃん」	
H30年度	メドメイン株式会社	九州	DeepLearningによる病理画像診断支援ソフトウェア「PidPort」	
R元年度	エニシア株式会社	近畿	カルテ要約支援AIソフトウェア『SATOMI』の開発と展開	
R元年度	株式会社ログラス	関東	コーポレーション・インテリジェンス・クラウド「Loglass」	
R2年度	株式会社Acompany	東海	暗号化したまま分析する秘密計算	
R2年度	カイテク株式会社	関東	介護ワークシェアリング「カイスケ」	
R3年度	アルム株式会社	北陸	多品種少量生産の金属加工業界に生産性革命をもたらす製造AI「アルムコード1」事業	
R4年度	株式会社yuni	関東	寝具のお引き取りと再生素材化により、焼却処分場を再生工場に、日本を廃棄大国から資源大国へ変える。	

スタートアップ支援施策の2つの方向性

1

起業率を上げたい



創業支援

2

GAFAMのような
イノベーションを起こす



スタートアップ支援

なぜ分けなくてはならないのか？

1

スモールビジネス
着実に売上を積み上げる

2

スタートアップ
短期間に急成長（スケール）
を目指す

- ✓ 創業支援は既存の施策があるが、本当の意味でスタートアップに**特化した支援**ができていない地域が少ない。
- ✓ スタートアップ支援を**創業支援と一緒にして考えない。**

地域におけるスタートアップ支援の考え方

スタートアップの創出・育成に向けたエコシステム形成

ゴールは地域からスタートアップが続々生まれ、 地域に根付き、地域活性化に貢献してもらうこと

- ・日本全国シリコンバレーを目指しても無理
- ・わざわざその地域に残る理由はなにか？まずは地域の強みを洗い出す
→自然が豊かで山や川があります。×7割方そんな地域ばかりです。
- ・特に地場産業や地域中核企業のDXやオープンイノベーション推進環境を整備
→近年各地で地元企業のオープンイノベーション推進団体が増加
ex)福岡StartupGo! Go!、北九州GAP-K、大阪MUIC関西、静岡Take off SHIZUOKA

スタートアップが「生まれるための施策」とスタートアップが 「根付くための施策」に分けて考える

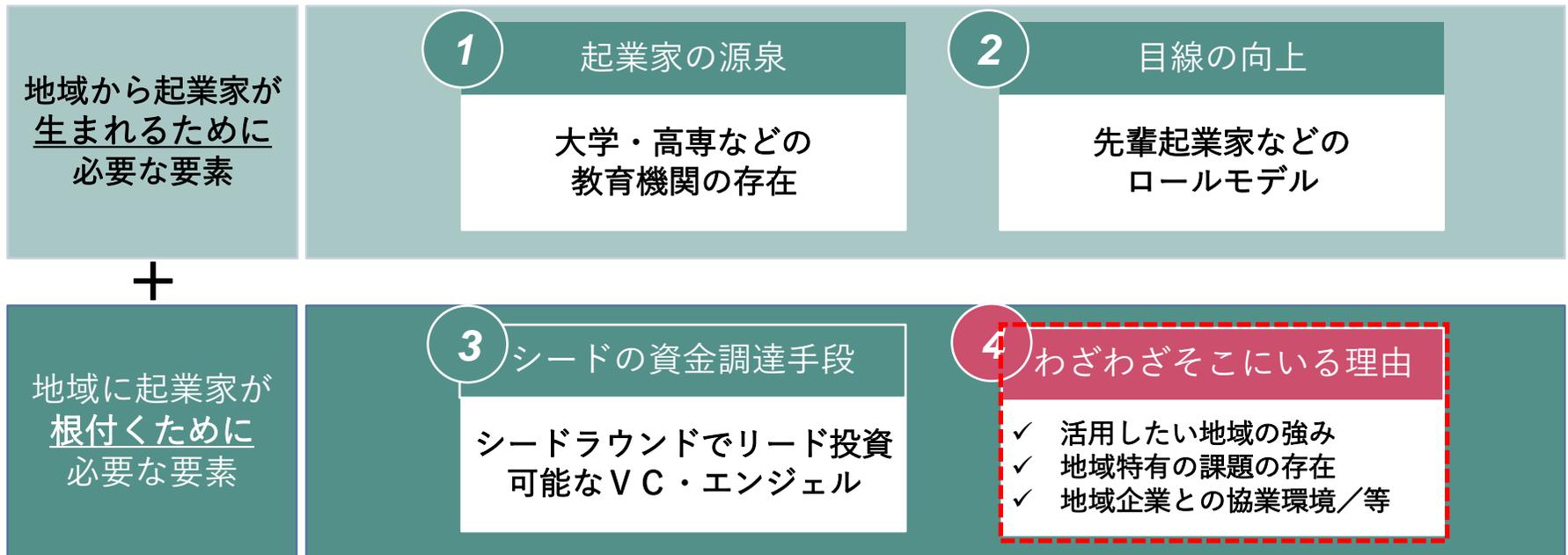
- ・スタートアップ支援あるある「そもそもいない問題」→本当にいないのか？
- ・いないなら育てる、いないのではなくて出て行ってしまっているだけ
- ・なぜ出て行ってしまうのか？
- ・リードで投資するシードのVCがないから（資金調達手段がない）
- ・そもそもそこにいる必要がないから

地域からスタートアップが生まれるための4つの視点

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)ICTメンタープラットフォームより

地域発ICTスタートアップ創出のエコシステムの形成に、どのような取組をすれば良いかの処方箋として、「新産業創出力」を図る指標を提案します。以下の4つの視点は、NICTが起業家応援団と連携し、サポートする上での共通言語としても活用していくものと考えています。

地域からスタートアップが生まれるための4つの視点「新産業創出力」



- 地域からスタートアップが生まれるためには、「地域から起業家が生まれ」、「その起業家が地域に根付くこと」が必要。
 - 地域から起業家が生まれるには、①起業家の源泉があり、ロールモデルの存在など②目線向上の機会があることが必要。
 - 地域に起業家が根付くには、③シードの資金調達手段があり、行政のバックアップや地の利・地元企業との協業環境など、④わざわざそこにいる理由が必要。
 - スタートアップの事業環境や、地域の連携イベントに求められる価値が変化しつつあることを踏まえ、4つ目の視点を④「わざわざそこにいる理由」としてまとめ直し、「地域の強み」を生かした事業領域の設定や「既存産業との協業環境」の整備を重視。
- これら4つの視点（新産業創出力）に基づき、何が揃っていて何が不足しているのか？を明確にし、各種施策を実施し補完していくことが必要。

スタートアップとの共創による地域活性化に向けて

- ✓ 地域の「強み」を知り、活かすべし（無いモノねだりよりあるモノ探し）
- ✓ 地域の「課題」はビジネスの源泉
- ✓ 既存の産業は地域の強み、既存産業とスタートアップの「共創環境」を整えるべし

スタートアップは3 / 1000、新規事業は1 / 100
成功するまで続ける覚悟とまず踏み出したその一步に価値がある。

【本件ご連絡先】

フォーアイデールジャパン株式会社

代表取締役社長 杉原美智子

michiko@forideal.jp

070-9022-3011



fbページのフォロー、いいねをお願いします。

<https://www.facebook.com/forideal.jp>



for ideal Japan